

# 【家庭教育支援チーム】

## (1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	松戸市家庭教育支援チーム (呼称: <u>NPO 法人子どもの環境を守る会 Jワールド</u> ) URL: <u>http://kosodate-hiroba.com</u>
②活動拠点	千葉県松戸市新松戸4丁目256-1 SRCビル
③活動範囲	松戸市内全域、近隣市町村
④組織体制	50人(ボランティアを含む) 松戸市子育てコーディネーター 4人、民生委員1人、主任児童委員(精神保健福祉士)1人、社会福祉士1人、保育士6人、特別支援級非常勤講師1人、弁護士1人、介護福祉士1人、教員免許取得者6人、等
⑤活動開始年度	<u>2008年度</u>
⑥問合せ先	理事長 三浦輝江 (TEL) 047-344-0544 (E-mail) j_loveties@yahoo.co.jp

## (2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他( )
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

<p><b>③活動内容</b></p>	<p><b>【具体的な活動内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭教育学級講座: 松戸市内小学校の家庭教育学級で開催。</li> <li>○子育てセミナー: 子育て家庭の「それぞれの自立」「親と子どもの境界線とは？」の講座開催とお母さんの居場所作り。</li> <li>○おやこDE広場旭町: 松戸市委託事業。おやこの遊び場の提供。乳幼児と保護者が気軽に集い、友達づくり・情報交換等に利用、子育てコーディネーターが子育ての相談を受ける。</li> <li>○ユースペース: 中学生・高校生が放課後、楽器の練習や勉強をしたり、ゲームをしたりして自由に過ごすことの出来るフリースペース。</li> <li>○学習支援、居場所作り事業: 松戸市委託事業。勉強だけを教える学習塾とは一味違う小学校高学年から中学3年生までの居場所と学習支援。ひとり親が多いため保護者の相談も受けている。</li> <li>○ゲットユアドリーム: 様々な職業に就いている大人の話を身近に聞いて、自分の将来について考える中高生のためのワークショップ。松戸市内の中学校で開催。</li> <li>○青少年プラザ(松戸市青少年会館)松戸市委託事業: 小学生から高校生までの居場所を週に1度開催。体育館、1階フリースペース、和室でそれぞれの過ごし方ができる居場所を提供している。</li> <li>○リバちい: 新型コロナウイルス感染症拡大によって、特に大きな影響を受けている貧困世帯やひとり親家庭を応援する事業で、親子そろって無料で安心して利用できる相談場所、居場所。</li> <li>○自己肯定感を高める授業: 市内の中学校、高校で行い、生徒の自己肯定感を上げることをねらいとした出前授業。</li> </ul>
<p><b>④活動の成果</b> (活動実績がある場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乳幼児から高校生までの居場所づくりを通して、子どもたちに関わるあらゆる世代の方が居場所として利用している。「家族体験ができる」と「子どものこと、家族の事、様々な悩みを安心して話せる」と来続ける方が多い。</li> <li>○ボランティアに関心のある大学生が多く参加している。</li> <li>○Jワールの居場所で利用するだけでなく、ボランティアにも参加し、社会人になってボランティアスタッフとして継続して参加している。</li> <li>○家庭内に問題があった家族が回復し、家族全員でボランティアに参加している。</li> <li>○これらの活動が、文部科学省NPO教育関連NPO事例集 Vol3「いきる」に掲載された。</li> <li>○松戸市内の学校との連携ができ、情報共有や出前授業の機会が与えられている。</li> </ul>
<p><b>⑤活動財源</b> (複数チェック可能)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名: )</li> <li><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名: )</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名: 子どもの学習支援事業 )</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</li> <li><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</li> </ul>

その他の支援により活動を実施

(りばちい: 休眠預金活用『新型コロナウイルス対応緊急支援助成』による、ちばのWA 地域づくり基金が実施する「地域連携型アフターコロナ事業構築」の助成金 )